

## インシデント・レポート(事故直前回避体験・報告書)

### 【レポート作成の趣旨】

- 1.直前で事故を回避できたケースについて、当事者がその経過を振り返り原因を確認することにより、今後の再発を防止する。
- 2.地域ボート協会を通じて日本ボート協会に報告し、日本ボート協会は報告内容を整理・分析して公開することにより、全国のボート団体が事故回避についての貴重な体験を共有し、事故防止に役立てることができる。なお、事故回避体験の公開にあたっては地域協会名、団体名、事故当事者名などは原則として全て匿名とする。
- 3.日本ボート協会においては、報告された事故回避体験により「ボート事故発生の予知・回避」のノウハウを把握し安全についてのルール見直しやマニュアル改訂の資料とする。

### 【報告の対象となるインシデント(事故直前回避体験)】

- 1.陸上、水上を問わず、漕手や舵手の負傷、艇本体やリガー、オールの破損、艇の沈没などの重大事故を、偶然によって、または判断・対応によって「直前で」回避した場合。
- 2.「直前で」について明確な定義はないが、まさに事故に至らんとするまで「危険」に接近してしまった原因や理由、及び直前で事故を回避できた判断や対応など、他の団体が事故防止について考える参考になるケースについては積極的に報告願いたい。

### 【報告要領】

インシデント(ヒヤリ体験および事故直前回避体験)は、この用紙によって、発生から7日以内に所属の地域ボート協会に報告して下さい。地域ボート協会は発生から14日以内に日本ボート協会に報告してください。

: 必須項目

報告者	団体名・役職:	住所:
	氏名: (フリガナ)	電話:  E-メール:
発生日	200 年 月 日 ( 曜日 ) 午前 / 午後 時 分 ( 頃 確定 )	
発生の場所	水域名:	人工コース 河川 湖沼・ダム 港 沿岸
	詳細な位置( 付近 )	
気象・水象	天候、視界、気温、水温など	
行事	通常練習中 大会中(大会名: ) その他:	
署名	クラブ責任者 200 年 月 日	安全責任者 200 年 月 日
送付確認	報告者 地域ボート協会(担当者: ) 月 日送付 直接/ 郵送/ FAX/ Eメール	
	地域ボート協会(担当者: ) 日本ボート協会 月 日送付 直接/ 郵送/ FAX/ Eメール	

関係艇	所属団体名	艇種	クルー構成(学年、性別等)	報告は匿名
A				
B				
状況	時刻	状況(時系列に沿い、「客観的事実」「推定」を判別して記載)		
直前回避の場合 回避できたポイント				
事故直前の状況に 至った理由・原因				
参考 情報			添付資料 なし あり ( 種類、合計 枚)	
対策・ 計画	短期的措置(1～6ヶ月以内・応急的対策)		1年後評価: 良 否 (提出時記入不要)	
	中・長期的措置(6ヶ月以上・基本的対策)		1年後評価: 良 否 (提出時記入不要)	

【現場見取り図】

--